

2023（令和5）年度 第7回 高井戸小学校運営協議会 議事録

日時・場所： 2024（令和6）年02月10日（土）11:00～・高井戸小学校校長室

参加者： 鬼澤（会長）、廣野、山田（事務局）

秋山、青木、芦塚、伊勢、下河、内藤、蕨南（委員）

敬称略・所属・五十音順

欠席： 望月、和田

議事録担当： 山田

以下、（）は発言者を表す。

・会長挨拶（鬼澤）

2月も半ばに入り、雪やインフルエンザの流行等大変ではあるが、1年間の締めくくりに向けてやっていきたい。本日は来年度の教育課程を確認し、準備を進めていくこととしたい。

・学校長より（伊勢）

会長のご挨拶のとおりインフルエンザが急に増えた。併せてコロナも出ている。雪が降り、もっと遊ばせてあげたかったが、水分の多い雪であり、また増築中のためできなかった。来週は暖くなる予報も出ている。その際は、存分に体を動かす活動をしていきたい。卒業式と入学式を控えている。コロナ等の制限が緩和されているが、人数が多いので参観は各家庭2人までにしている。新一年生は138名の予定。あと3名増えると5学級になる。今日は、教育課程をご確認いただきたい。子どもたちが、将来自立して逞しく生きていくことを願い、次年度におけた本校独自の特色ある教育活動について、不登校傾向のある児童や発達に課題のある児童への対応策（落ち着けるスペース作り）などについて区に伝えている。（その時のプレゼンテーション資料を視聴。）

<プレゼンテーションを視聴して>

不登校児童、発達障害のある児童等の対応は、今後増えていくのか。（蕨南）

近隣の中学校では、専用の支援が始まる。さざんか教室などの区の施設もあり支援の体制がある。このような、発達に課題のある児童は増えている。過去には、保護者も教員も多少強引に抑え込むこともあったが、現代は、児童の思いに寄り添う支援の形となっている。（伊勢）

発達障害のある子など、個性を認めてあげる支援の仕方を進めていただいていると感じた。一方で、その他の児童は、それを認め理解しているのか。（芦塚）

子どもは大人以上に寛容で、自然に受け入れている様子も見られる。いじめや差別に関しても幼稚園や保育園の頃から人権を重視して指導を行っていると聞く。多様性を認める教育は進んでいる。しかしながら、まだまだ完全ではなく、からかったり、いじめに発展してしまったりするケースもある。そうならぬように徹底して指導を継続していく。（伊勢）

清掃工場の見学の様子を見ると少々羽目を外すこともあるが、高井戸小の子はよくやっていると思う。（内藤）

保護者の視点から見ると、けやき学級やたかいど教室があるが、そこに通級する友達を「いってらっしゃい」と送る雰囲気があると感じる。通級への理解も指導されており、それぞれの頑張りを知り、認め合っている。中学は、不登校の生徒が多く、なかなか復帰できない子も多い。クラスの雰囲気が大きく影響している様子である。パソコン室などを自習室とするなどして、不登校の生徒でも過ごしやすい環境を作っている。登校できないことへの罪悪感がある子もおり、学校で過ごせる場所があるのはありがたい。そこには人手が必要であるので、ボランティアとして携わってくれ

そんな知り合いの大学生にも声をかけたい。(下河)

不登校になると親も大変。子どもの代わりにカウンセラーに相談できる。そうすると安心できる。そのような対応は数も増えているから大変になると思う。(青木)

・教育課程の承認について

昨年度の内容を継続しながら、今求められる教育を反映している。探究や主体性を軸に学習を進めていける児童の育成。多様性を認め合い、いじめを許さない児童の育成。特別支援教育についても重点を置く内容となっている。(伊勢)

文科省の1単位時間を40分にする記事が出ていたが、次年度に反映されているのか。(蘆塚)

まだされていない。まだ検討の段階で、今年秋に中央教育審議会に諮問する見通しとなっている。総時間数は変わらない。85時間程度の浮いた時間は、探求的な活動に生かされていく内容になっている。(伊勢)

私学などでは、探求に重点を置いている。今後は公立学校でも進めていくのだと思う。高井戸小の課題に向き合っている教育課程になっているので、CSとして承認したい。(鬼澤)

・その他

次回の予定の確認(山田)

令和6年度の年間行事予定の配布(山田)

CSだよりの原稿の確認(山田)

令和6年度の学校運営協議会の予定の変更について(山田)

卒業式へのご出席について(廣野)

2月16日に4年生で「詩の朗読」の授業が行われる。(鬼澤)

以上